

9月・10月は、運動会の練習を精一杯頑張っていたぞうぐみさん。

運動会では、今までの練習成果を最大限に発揮し、成長した姿を見せてくれましたね。

今回のおけいこは、前回の復習だったのですが、2ヵ月振りにも関わらず、帛紗のつけ方、お茶碗の回し方など、よく覚えていて、上手にできていましたよ。

次回は、お茶を点てる経験をさせてもらえるとのことですよ。楽しみですね！

10月のお菓子



- ・栗
- ・いなほ

10月のお花



- ・ホトギス



帛紗(ふくさ)のたたみ方も上手になりました。



袋になった山の方を前に向けてつけます…。



お菓子どうぞ…。



お茶碗は、手前に2回まわします。



お茶どうぞ…。



*豆知識 — お茶の歴史(1)「お茶のものは中国」

お茶を飲む風習がはじめて伝えられたのは、奈良時代といわれています。

そのころは団茶というお茶の葉をつき固めた“だんご”のようなものでした。

平安時代の終わりごろ中国の宋に渡った栄西という僧侶がお茶の実を持ち帰り、日本に広まっていったそうです。

栄西はお茶は飲んで楽しむだけでなく、病気に効く薬だと時の将軍 みなもとの源 さねとも実朝に献上し、武家の間には広まり始めました。又、商人の間にも広まっていったようですが、当時ではぜいたくな遊びと考えられ、お茶の産地や茶名を当てたりして楽しまれていたようですよ。

来月は茶道の始まりへと続きます。